

# ともしえ

No. 49



■函館商工会議所報■

1985 新年号

謹んで新年の  
お慶びを申し上げます



# 賀

地域社会繁  
栄への奉仕

## 3つのビジョン

中小企業の  
健全な発展

豊かな国民  
生活の建設

はこしんは豊かな暮らしと確かな未来  
の実現にお手伝い致します。



# はこしん

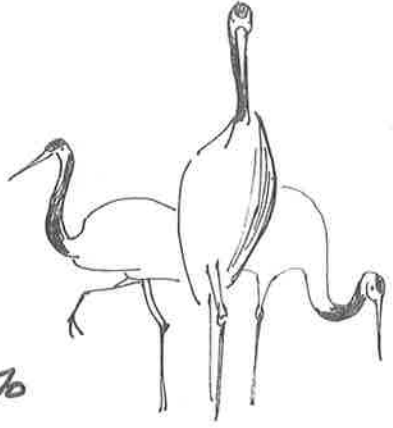
## 函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

● ともしえ ・ 49号目次 ●

巻頭言	1
新年を迎えて	2
年頭所感	3
会議所だより	4
誌上年賀	8
新春座談会	16
函館牛談し	22
成人おめでとう	23
寄稿文	24
ご存じですか	26
調査レポート	28
アドバイスコナー	34
事務局日誌・お知らせ	36
ティータム	38
告知板	40



● 巻頭言 ●

「冬の北海道観光を考える会」の函館懇談会が開催され、貴重な意見が参考になりました。札幌は今や夏、冬を通して観光客が集まるとの事です。考えて見ると、札幌は北海道の要めであり、大通公園が中心となつてライラック祭り、夏のビール祭り、クリスマスツリー、世界的な雪祭り等イベント広場となつており、薄野、スキヤ、スケートと共に繁栄の原動力となつております。

観光資源では函館は百三十カ所もあり、特に西部地区は市の努力で立派に整備されつつあり、見るところが多いのですが、通年観光のポイントがない事が残念です。真冬でも気温は平均零下四度位です。

函館山からの景色は世界一で、観光客の八十%の人が推奨しております。

新春の夢としてお聞き下さい。  
 谷地頭から延長二千メートル、幅八メートルのトンネルで御殿山と寒川ルートをつくり、この間を新交通システムで繋ぎます。三百メートルの頂上には新展望台をつくり、分速六百メートルの高速エレベーターでのぼります。寒川へ行く坑道内には、海洋博物館、水族館、産業物産館を設置します。寒川を開発して、テクノポリスの重点項目の海洋牧場、海中展望台、栽培漁業センター、研究センター等を設置します。

世界的青函トンネルと共に函館はトンネルの街としてPRします。津軽海峡博覧会まで実現可能、トンネル完成の記念すべき施設としてはどうか。自然保護団体やロープウェイとの緊密な調和は勿論大切です。新春の夢としてみんなで考えましょう。

函館通年観光のポイントは函館山よりないと思います。

# 新年を迎えて

## 函館商工会議所

会頭 川田 寛



昭和六十年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

足踏み状態であった北海道の景気にもほのかではありますすが、明るい見通しが  
見えて参りました。お天気になぞらえるなら、どんよりした雨雲の切れ目から、  
時折り薄日がさすといったところでありませう。

一〇アール当り五五〇キログラムという五年ぶりの豊作や、夏の記録的な暑さ  
による消費支出の増大にもよりますが、鉱工業生産も全国百十八（昭和五十五年  
一一〇〇）に対し漸く一〇〇に達するなど不況は何とか底をついた感じですが、  
ジェット機の尾翼のように最後に飛び上り、最初に着陸するような景気には終ら  
せたくないと思えます。

反面、函館管内の倒産は依然として構這い状況が続けており、十一月末件数で  
百四十四件、対前年同月末比一四％増、金額では百八十四億円で二％減の状況で  
あります。

第二次中曾根内閣誕生により政局は安定しましたが、政局の安定は経済の安定  
をも意味すると思えます。

十一月末、首相の私的研究機関である「経済政策研究会」が、「これからの経  
済政策と民間活力の培養」と題した報告書を提出しました。経済成長率は三％台  
と予測されていたものが五％台は確実と言われ、物価上昇率（消費者）二％台  
後半、失業率は二％台後半という水準であり、当面の経済状況は国内景気および  
物価の面で順調な推移をみせている。但し、業種別、地域別でのアンバランスが  
あり民間活力の培養が必要である—と云っております。

また、国の施策として

- 一、財政再建のため行政改革は不可欠である
- 二、民間経済の活力をつけ税収の自然増を図る

三、内需拡大のために建設国債を発行する  
四、民間活力の發揮される条件の整備を図る  
ことが大切ではないかと指摘しております。

幸い、かねて地域指定に向けて、道、函館圏と共に努力して参りました函館圏  
テクノポリス構想は、昨年七月十四日全国十二番目に通産省の認可を受けること  
ができました。

地域活性化、二次産業現在二二％の状況を先ず三〇％にすることを目標に、既  
存産業ともども所期の目的達成に民間活力を最大限に發揮するための条件が整備  
されようとしております。

本構想は、昭和六十五年には人口四十四万人、工業出荷額四千五百億円を目標  
としております。

産・学・官とも一致協力してその達成に努力すべき時が到来しました。

財団法人函館技術振興協会の設立につきましては、民間資金一億円を予定して  
いたところ三百事業所から一億四千万円のお申し込みを頂き、これに地方公共団  
体からの二億一千万円を合せ総額三億五千万円の財団が設立され、テクノ技術の  
研究振興資金として有効に活用されようとしております。地域の皆様のご熱意と  
ご協力に深く感謝申し上げる次第であります。

道、市町村の企業誘致に対する優遇措置条例も決定され、技術振興委員会、企  
業誘致委員会の活躍や、中核的工業団地の造成、明年度道立工業技術センターの  
着工などその基盤づくりに懸命に取り組んでおります。

世紀の国策である青函トンネル（五十四億）本坑もあと百メートルを切り貫通  
されようとしており、昭和六十二年には供用が開始されようとしております。

トンネルの有効活用問題は、広軌でカートレイン方式が採用されることを熱望  
しておりますが、明年度運輸省の調査の上決定されることになっております。

開通後、昭和六十三年を予定しております津軽海峡大博覧会の開催は、是非と  
も盛大なイベントとして実行するよう運動しております。

その他懸案の空港拡張問題、駅前地区再開発、駅舎の問題、美術館の建設、水  
族館の研究、新たに五稜郭地区コミュニティマート構想など、それぞれに地域の  
開発意欲を高揚させながら、行政と一体になり根強く取り組む努力が大切であり  
ます。

昭和六十年度の日本経済は「増税なき財政再建」の方向からも前年に引き続き  
厳しい年と判断されますが、当地域は英知を集め一層の自助努力により各産業の  
活性化をはかり、二十一世紀において楽しみな、夢のある平和で豊かな函館を再  
現致したいと思っております。

# 年頭所感

## 日本商工会議所

会頭 五島 昇



昭和六十年の新春を壽ぎ、謹んでお慶び申し上げます。

明治以来のわが国近代化百年あまりにおいて、一つの元号で六十年を迎えるのは、誠にめでたいかぎりでありませぬ。六十年は、人間で申せば還暦の年に当たります。ここから生まれ変わって新しい人生が始まると考えるのでありますが、このような意義あるときに、私は会頭として初めての新年を迎えました。

さて、私どもは昭和六十年の現在、経済と産業の新たな段階を迎えつつあるように思えます。マイクローエレクトロニクスを中心とする技術革新、ニューメディアを軸とする情報化の動き―昨年、INS（高度情報通信システム）やキャプテン（文字図形情報ネットワークシステム）の実験が始められたことは、まだ耳新しいことですが、多種多様なニーズに応じた経済のあらゆる面でみられる新産業、新サービスの誕生は目まぐるしく、そしてこれらの結果としての産業構造の変化は、かつての重化学工業化以上に、国民経済の行方に大きな影響を及ぼしつつあります。もちろん、これは天から与えられたものでなく、私ども自身のイノベーションにかけた絶えざる努力の結果であります。私どもはこのような変化の実態を正しく把握し、確かな目で経済の行く末を案じ、企業の将来を描かなければなりません。昭和六十年は、これ以前のいかなる年にも増して、研究開発、新技術の採用にあらんかぎりの力を投入すべき年でありませぬ。

このことは、中小企業にとっても同様、否、それ以上に当てはまります。近年、ベンチャービジネスの誕生が相次ぎ、また異業種交流、産学官提携などの形で、在来の中小企業においてもその主体的な努力により、技術開発、新製品開発が進んできておりますが、このような努力こそが、明日の中小企業を、ひいては

わが国経済の将来を築く原動力となるのでありませぬ。年頭に当たり、心を新たにし、豊かな明日のため、勇気を奮って未知の扉を押し開こうではありませんか。

これからは、疑いなく、民間活力こそが日本を築く力でありませぬ。過度の行政介入を是正して、民間活力の増進とその活用を進めることは、行政改革の核心であり、このことは、米国の実例を待つまでもなく明白であります。私どもは臨時行政調査会ならびに臨時行政改革推進審議会の方針に従って、今後も一層、行政改革を徹底するよう政府に求めたいと考えますが、もう一つ、地方行政の改革も忘れてはならないと存じます。国家財政と並ぶだけの財政規模を持ち、商工業者のみならず、一般の住民大衆にも身近な行政を執行するだけに、私どもはそれだけの地域において、今後の地方行政のあり方を検討し、その近代化、簡素合理化を強く求めていかねばならないと考えませぬ。

わが国経済の国際化に伴い、商工会議所の国際活動も、欧州諸国や米国をはじめとして、アジア、中近東などの各地にまで広がってきております。このため、私どもは、早くから積極的に取り組んできているPBEC（太平洋経済委員会）をはじめとして、多国間、二国間の国際会議などの拡充に一層の力を注いで対処すべきであると考えております。わが国の国際化は、とかく、必要に迫られて実施してきたきらいがありますが、とうとうたる国際化の動きの中では、むしろいわゆる「先手必勝」こちらから一歩も二歩も先に出る姿勢こそ大切であり、今、そのチャンスが到来していると存じます。

こうしたさまざまな国際関係の中で、私は特に太平洋を囲む地域、つまりわが国や米国のような先進工業国のほか、数多くの発展途上国をかかえる地域の重要性、将来性を指摘したいと存じます。昨今の日米間の外交・経済上の動きは、太平洋をはさむ東西二国を軸に、新しい時代が形成されつつあることを示しております。私どもは、これらの地域の人々と協力し、経済発展、生活水準の向上、一つの大きな経済圏の確立を目指して努力すべきであります。昭和六十年は、その第一歩を記す年かと存じます。ご高承のように今春三月、私が団長となって使節団を編成し、中国を訪問いたしますが、これもまた、太平洋時代の到来を告げる一つの動きであると申せませぬ。

石油危機以降の十年間、低成長やインフレの脅威の中で、諸外国に比べ極めて良好なパフォーマンスを維持し得た私どもは、この成果におごることなく、次なる一歩を大胆に踏み出そうではありませぬか。未来は私どものものであります。

# 所 議 会 だ よ り



議員を前にあいさつする川田会頭

## 議員定数5人増員、100人に

### 常議員は2人増員、33人を可決

第5回臨時  
議員総会

本所第五回臨時議員総会が、昨年十二月七日午後五時から川田会頭はじめ役員、議員五十六人が出席し、函館国際ホテルで開催されました。

川田会頭から「景気は全国的には上昇しており、経済成長率は四・五パーセントとなっているが、当地域としては必ずしも良くなっているとは言えない。しかし、テクノポリス計画の推進、青函トンネル開通によ

るトンネルの有効利用、その他山積する諸問題に対し議員各位と協力のう え取り組んで行きたい」とあいさつのあと議事に入りましたが、概要は次の通りです。

#### 〔報告事項〕

一、議員異動について(七月以降分)  
二、部会・委員会からの報告について

三、陳情・要望活動報告について  
四、月別業務概要報告について  
五、新会員の加入承認について

百六十三事業所が新規加入(六月十三日から十二月三日まで)

#### 〔付議事項〕

一、常議員二人補充選任について  
議員の異動により生じていた常議員二人の補充については審議の結果、次の二人が選任された。

田島久吉議員(北海道乳業㈱)  
金子由雄議員(金子商事㈱)

二、本所定款一部変更、議員並びに常議員定数の増員について

本所の議員定数は現在九十五人となっているが、これは昭和五十一年に改定されたものであり、当時二千余の会員数が現在三千八百となっている。当地域では、昭和六十年代にテクノポリス、青函トンネル、その他多くの問題への対応が課せられており、本所としては組織機能の拡充強化をはかって積極的に対応して行く必要があることから、昭和六十年年度の議員改選期を機会に議員定数を五人増員して百人とし、併せて常議員定数も二人増員することを審議し、これを決定しました。なお、これにともない定款の一部変更が行われる。

三、本所議員選挙及び選任規約の改正について  
定款の変更にもない規約も一部変更

四、コミュニティ・マート構想の推進について  
当市では五稜郭商店街振興組合が名乗りをあげているが、全市的波及効果のある問題であり、年度途中ではあるが本構想を本所の昭和五十九年度事業に正式に加え、強力に推進することとした。

## 〈コミュニティ・マーケット構想とは〉

消費者ニーズが多様化し、日常生活の中でも欲求に変化をきたしています。総理府の世論調査報告によると昭和五十三年五月を境として心の満足が得られる豊かさの欲求が物に対する豊かさの欲求を追い越し、最近はその格差が次第に大きくなり、モノ離れの傾向が強くなっています。(表)

	物の豊かさがほしい	心の豊かさがほしい	どちらともわからない
昭和49年1月	41%	37%	19%
昭和53年1月	40%	40%	—
昭和58年1月	37%	46%	—

こうした変化に対応してのコミュニティ・マーケット構想は昨年二月中小企業庁が打ち出したもので「八十年代の流通ビジョン」の一端として、大型店の進出や消費者のモノ離れなどによって地盤沈下している商店街を活性化するための切り札として、商店街に新しい魅力をもたせ、単に買物をする場から地域住民のニーズに対応した豊かな暮らしの広場に変えるのが狙いです。

具体的な内容としては、文化、レジャー、スポーツ、銀行、郵便局、コミュニティホール(集会場)、ポケットパーク(小公園)そして情報を提供する場などの施設を持った商店街づくりを目指そうとするものです。

昭和五十九年度は全国六カ所にモデル地域指定をしようとしてきましたが、申請期間が短かったことと、主旨がよく徹底されなかったために全国から九カ所(うち北海道は旭川市、釧路管内白糠町、夕張市、滝川市、

札幌市、そして当函館市は協)五稜郭モートル街の六カ所)が申請しましたが、残念ながら協)五稜郭モートル街は指定もれとなり、四カ所がモデル地域に、道内では札幌二番街が指定されました。

中小企業庁では昭和六十年には全国二十カ所分の予算要求をするようで、この地域指定をうけると一地域に対し四千九百万円(国と都道府県の折半)の補助金が交付されることとなります。

昭和六十年のモデル地域指定に向けているのは、道内では釧路管内の白糠町、滝川市、夕張市、それに当市の四カ所で、当函館市では五稜郭商店街振興組合が名乗りをあげ、函館市がメインとなり、当商工会議所がバックアップし、現在この指定に向けて道に対し陳情活動を展開しております。

道に対して申請した五稜郭商店街振興組合のコミュニティ・マーケット構想のモデル事業の概要は、メインテーマ(キャッチフレーズ)を文化と情報のクロスタウン五稜郭とし、五稜郭地区土地区画整理事業と北海道街路事業を背景とした、五稜郭モ

ートル街の商店街近代化事業の推進と併せてのコミュニティホール(集会場)の建設、青函局宿舍跡地を利用してのバスターミナル、南北海道道場産業センター、民族資料館(道立)の建設、情報・スポーツ・レジャー等施設として地域情報センター、映画館、スポーツセンター、図書配本所、カルチャーセンター、消費生活センターの建設構想があり、更に環境整備事業にはカラー舗装(歩道)街路灯の設置など膨大な資金を要する数多くの事業が計画されています。この構想の推進には地域商店街の自助努力と併せ、市はじめ青函局等の協力を得なければならぬのは当然であります。当商工会議所としてもこの構想が一地域商店街の問題としてではなく、全市的な波及効果を考え、駅前地域再開発事業同様の立場で事業推進にバックアップしなければならぬと考えており、是非とも地域指定されることを期待しております。

# 地域振興と福祉向上に寄与

## 本所婦人会創立15周年記念祝賀会

昨年十二月八日、五島軒本店で函館商工会議所婦人会創立十五周年記念祝賀会が開かれました。

同会は昭和四十四年十月、当時の函館商工会議所会頭田中誠一郎氏（現函館空港ビルディング会長）が、市内の女性経営者たち呼びかけて発足し今日に至っております。現在会員数は四十七人で、総務・研修・社会活動・親睦の四委員会に所



あいさつを述べる遠藤会長

属し、それぞれが例会・催物等を企画し、税務を始め一般教養や、会議所議員会と共催で産業施設の見学会等を実施して、女性経営者としての資質の向上のための勉強をしております。

また数年来、旭ヶ岡老人ホーム・愛泉寮等の施設の慰問も行っておりますが、昨年九月、創立十五周年の記念事業の一つとして、チャリティショウを開催し、その益金の中から日中友好協会函館支部と、「社会福祉法人NHK厚生文化事業団」「財団法人北海道新聞社福祉振興基金」を通じ、福祉施設にそれぞれ贈呈しました。

そのほか、函館市民の挙って推進中の道立函館美術館建設に対しても積極的な協力を行っております。祝賀会当日、来賓として出席した同婦人会の生みの親である田中誠一郎氏は、十五年の足跡を称え、当時をなつかしみながら祝辞をのべました。このあと同氏ほか、初代会長石

館とみ、二代目半田トミ、三代目佐山サダエの歴代会長に会員一同から感謝とねぎらいをこめた花束が贈呈され、厳肅な中にも女性の会らしい配慮が感じられました。

席上、遠藤烈子現会長は「十五周年を機に初心にかえり、二十周年に向けてますます研鑽を積み、地域の活性化など山積する商工会議所事業に微力ながら協力して行きたい」と今後の抱負と謝辞をのべました。引きつづき懇親会に移り、盛会のうちに終了しました。

道内には札幌を始め、釧路・旭川と昨年四月誕生した帯広を加えた五カ所に婦人会があり、隔年ごとに全道交歓会を開催し交流しております。

全国商工会議所には現在百八十六の婦人会があり日本商工会議所（日商）が主催する全国連合会総会は毎年各地で開催されており、昨年十一月横浜市で開催された第十六回総会は、全国から二千余人が参加し、史上空前の総会となりました。

連合会では日商を通じ未組織会議所に加入を呼びかけており、全国的なつながりが年々伸びて行く傾向にあります。

新しい感覚・卓越した先進のシステムを通して  
美しい印刷物をお届けしています

 株式会社 **第一印刷**

TEL (0138) 23-0101・(040) 函館市末広町1番8号





函館商工名鑑は、地域の会員、特定商工業者の方々を中心に掲載されたものですが、発刊の目的は地域の商工業者の方々を当地域はもとより広く全国に紹介することによって企業活動の円滑化と商工業者の発展に寄与することにあります。

この度発刊された八十五年度版「函館商工名鑑」は、正しく・詳しく・便利にをモットーとして本所のオフィス・コンピュータを活用し製作しましたが概要は次の通りとなつ

## 八十五年度版

### 「函館商工名鑑」が発刊されました

ています。

◎函館商工名鑑

サイズ B5版 (たて型)

ページ数 四百三十ページ

収録数 約六千件

内容 函館市の概要

商工業者名簿

官公庁、組合、団体名簿

特長 函館商工会議所議員名簿  
約六千件の事業所の概要  
を業種別に分類収録し、  
編集には正確を期するた  
め漢字電算処理システム  
を採用

価格 本所会員六千円

本所会員外八千円

\*商工名鑑の販売等取り扱いについては、本所振興課が担当しております。また販売数量に限りがありますのでお早目にお申し込み下さい。

### 昭和六十年各種検定試験

#### 施行日のお知らせ

△珠算▽

昭和六十年六月二十三日

(第四日曜)

昭和六十年十月二十七日

(第四日曜)

昭和六十一年二月九日

(第二日曜)

昭和六十年六月九日

(第二日曜)

昭和六十年十一月十七日

(第三日曜)

△小売商▽ (販売士)

三級 昭和六十年七月十七日

(第三水曜)

昭和六十一年二月十九日

(第三水曜)

二級 昭和六十年十月二日

(第一水曜)

一級 昭和六十一年二月十九日

(第三水曜)

\*各種検定試験の受付締切日は、試験施行日の三〜四週間前までとなっておりますので、ご留意の上受験手続きをお早目にお願ひ致します。

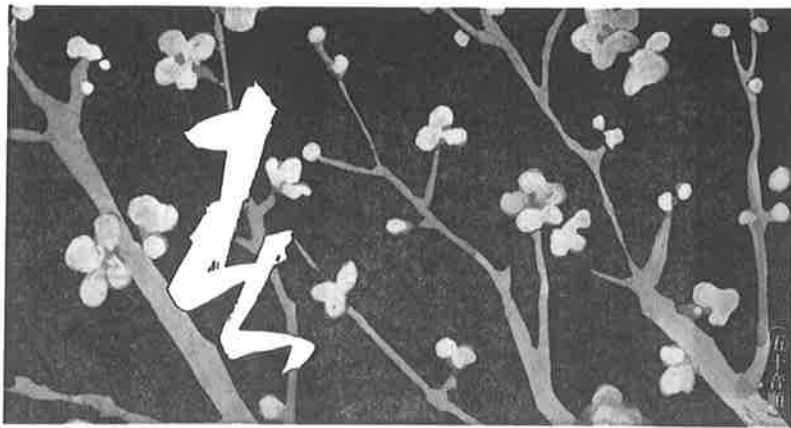
お車のご用命は  全車無線装備の

# 親切安全 大門タクシー株式会社

## でんわ 23-1411 番へ

函館市千歳町4番13号

代表取締役社長 横山由之丞



衆議院文教委員長  
イタリヤ国名誉領事

阿部 文男

若松町三二一五

日本通運(株)函館支店  
支店長

秋葉 武雄

若松町一四一二

東邦生命保険相互会社函館支社  
支社長

天谷 征喜

末広町九一三

(株)アラキ商事  
代表取締役

荒木 春一

松風町二二一七

新函館都市ガス(株)  
取締役社長

安藤 勝見

万代町八一

三井生命保険相互会社函館支社  
支社長

石塚 真三郎

梁川町五一八

千代田生命保険相互会社函館支社  
支社長

石丸 勝利

大手町二一七

(株)第一印刷  
代表取締役

板垣 孝雄

末広町一一八

函館小規模企業振興協議会  
会長

犬島 豊

若松町一五七七六一  
函館商工会議所内

(株)ホテル函館ロイヤル  
代表取締役

岩佐 陽一郎

大森町二六一九

丸卓不動産(株)  
代表取締役

遠藤 烈子

宝来町二二一五

(株)ティーオー小笠原  
代表取締役社長

小笠原 金悦

松川町四五一六

大一興業(株)  
代表取締役

大越 勝巳

昭和二一四三一五〇



(株) ジャックス  
顧問  
**大沼 平八郎**  
末広町二二一五

函館製網船具(株)  
代表取締役社長  
**岡本 忠作**  
末広町一七一四

(株) 棒二森屋  
取締役社長  
**荻野 清**  
若松町一七一二

加藤組土建(株)  
代表取締役  
**加藤 憲**  
千歳町三一二

大明工業(株)  
代表取締役会長  
**加藤 政雄**  
栄町二二一八

北海興業(株)  
代表取締役社長  
**加藤 隆三**  
中島町一四一六

(株) 陶陶亭 美術サロン 盧山  
取締役社長  
**加地 彦太郎**  
若松町一八一〇

衛和光ビル  
取締役社長  
**景山 三郎**  
若松町二〇一

金子商事(株)  
代表取締役社長  
**金子 由雄**  
末広町二一三

朝日生命保険相互会社函館支社  
支社長  
**鎌田 隆一**  
大手町十七一六

日本化学飼料(株)  
代表取締役社長  
**川田 寛**  
浅野町三一六

(株) 湯の川プリンスホテル  
代表取締役社長  
**河内 孝夫**  
湯川町一一二二五

函館トヨベツト(株)  
代表取締役  
**河村 澤治**  
美原二一四一



函館定温冷蔵(株)  
代表取締役社長

木村 勝太郎

海岸町二三一七

(株)北村船具店  
代表取締役社長

北村 實

末広町二一一六

真鉄工業(株)  
代表取締役

倉崎 六利

浅野町四一八

(株)高木組  
代表取締役社長

黒田 憲治

東雲町一九一三

国民金融公庫函館支店  
支店長

小坂 昭雄

豊川町二〇一九

小島商事(株)・道南ハイヤー(株)  
代表取締役社長

小島 悦郎

富岡町一六三一五

商工組合中央金庫函館支店  
支店長

小林 淑雄

若松町三二六

野村證券(株)函館支店  
支店長

小林 博之

若松町七一五

函館木工品製作販売(有)  
取締役社長

近藤 純悦

美原一三六一四

函館バス(株)  
代表取締役

近藤 敏夫

高盛町一〇一一

みかど(株)  
取締役

佐藤 悦郎

若松町二二一九

合同容器(株)  
監査役

佐藤 亀吉

港町一三三三四

衆議院議員

佐藤 孝行

大手町五一〇(日魯ビル)



渡島信用金庫  
理事長  
**佐野正名**  
茅部郡森町字御幸町一三五

(株)齊藤組  
代表取締役  
**齊藤八郎**  
中道一三〇―二五

近代包装資材店  
マルサ  
**齊藤政則**  
松陰町九―一

函館小規模企業振興協議会  
副会長  
**坂下浩**  
若松町一五―七―六一  
函館商工会議所内

山一証券(株)函館支店  
支店長  
**阪口益次**  
若松町一六―一〇

北海道議会議員  
**桜井外治**  
千歳町二―一五

(株)カネマル  
代表取締役  
**下郡山信一**  
西桔梗町五八九―四六

(株)ほてい屋  
代表取締役社長  
**白崎豊治**  
松風町一七―二

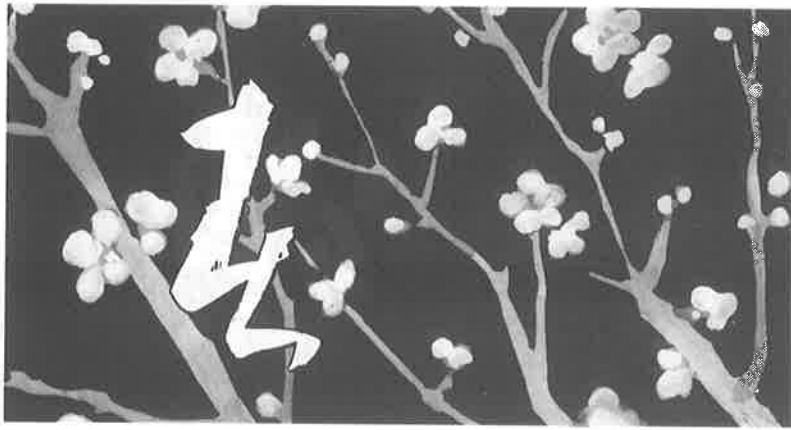
(株)菅製作所  
代表取締役  
**菅鉄夫**  
吉川町三一四―二

日魯漁業(株)本社函館事務所  
所長  
**菅原敏正**  
大手町五―一〇

(株)精養軒  
取締役社長  
**杉村吉彦**  
元町二九―一四

美鈴商事(株)  
取締役社長  
**鈴木武二**  
上湯川町一―一

(株)彩華・明月園パシフィックホテル  
代表取締役  
**関勝吉**  
松風町九―一



千寿庵  
代表取締役  
**田中サト**  
大手町一七一五

第二物産(株)  
代表取締役社長  
**田中仁**  
西桔梗町五八九一〇七

(株)高橋組  
代表取締役  
**高橋力造**  
高盛町三一二〇

明治生命保険相互会社函館支社  
支社長  
**土屋勲**  
若松町二一五

参議院議員  
**田中正巳**  
大手町一〇一一  
(富国生命ビル2F)

函東工業(株)  
代表取締役  
**津村茂**  
浅野町三一三一

住友生命保険相互会社函館支社  
支社長  
**遠山勲治**  
本町七一八

ダイカ(株)  
**大総一郎**  
西桔梗町流通センター内

辻木材(株)  
代表取締役  
**辻才次郎**  
若松町三七一三三

(株)弘告社  
代表取締役社長  
**外崎舜子**  
東雲町一三三八

北海道水産製造(株)函館支店  
代表取締役社長  
**高野洋蔵**  
豊川町二七一五

第一生命保険相互会社函館支社  
支社長  
**土川進**  
本町六一七

函館特産食品工業協同組合  
理事長  
**豊山秋央**  
豊川町二七一六



道南石油(株)  
代表取締役  
**中野 勲**  
末広町二四一六

五稜郭タワー(株)  
取締役社長  
**中野 真輔**  
五稜郭町四三一九

(株)若松屋衣裳店  
代表取締役社長  
**中野 亮**  
亀田町二一七

(株)長門出版社  
取締役社長  
**長門 克哉**  
日乃出町二一一三

函館山ロープウェイ(株)  
代表取締役専務  
**西野 鷹志**  
元町一九一七

(株)花びしホテル  
代表取締役会長  
**西村 敏雄**  
湯川町二一六一一八

(株)南北海道電子計算センター  
代表取締役社長  
**沼崎 弥太郎**  
末広町二二一一

協和石油(株)  
代表取締役  
**野口 幸治**  
末広町二一一三

野村水産工業(株)  
代表取締役  
**野村 宜市**  
浅野町四一四

中小企業金融公庫函館出張所  
所長  
**秦 建四郎**  
松風町二一一二

半田機械器具(株)  
代表取締役  
**半田 トミ**  
西桔梗町五八九一三四

(株)丸井今井函館支店  
支店長  
**東口 昭**  
本町三二一五

北海道日産化学(株)  
代表取締役社長  
**藤川 正臣**  
北浜町九一三三